



IBJ防除情報

(*は、Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)



新農薬情報

チョウ目害虫に効く

殺虫剤「アクセルフロアブル」について

アクセルフロアブルは、日本農薬(株)により創出された新規な化学構造を有する新タイプの化合物で、既存の殺虫成分と異なる作用機作の殺虫剤です。2010年より弊社でも取扱う事となりました。本剤は、コナガ、オオタバコガ、ヨトウムシ等のチョウ目害虫に高い防除効果を示します。又、既存剤に抵抗性を発達させた個体群にも高い防除効果を示し、ローテーション防除の一剤として有望と考えられます。

●新規構造の殺虫剤

既存の殺虫剤(有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤、IGR剤、マクロライド系剤、ネオニコチノイド剤)と異なる新規構造を有した新しいタイプの殺虫剤です。アクセルフロアブル処理により、害虫は、神経の興奮伝達が抑制されて麻痺状態になり、最終的に死に至ります。

●チョウ目およびコウチュウ目に対する優れた効果

特に大型チョウ目害虫に高い殺虫活性を示します。

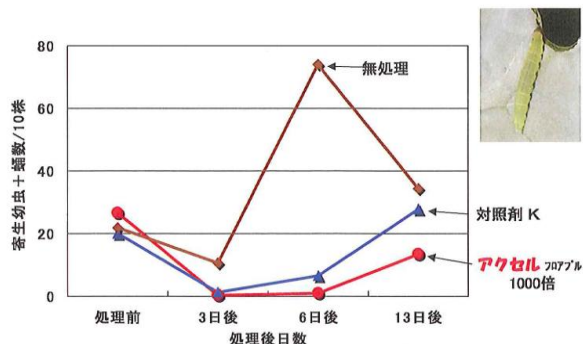
●作物への安全性

様々な作物・品種に対して薬害の懸念が少ない薬剤です。

作用特性

- ・作用経路.....主に経口から取り込まれて効果を示します。
- ・効果発現速度.....効果はやや遅効的に発現します。
- ・効果持続性.....既存剤と同程度の残効性を有します。
- ・ステージ別活性.....幼虫に対して高い活性を示し、齢期間差は小さいので、老齢幼虫に対しても高い活性を示しますが、殺卵活性、殺成虫活性は低いです。

キャベツのコナガに対する効果



日植防委託試験:長野県野菜花き試験場(2003年)
中発生、処理:7月25日、品種:YRSE、定植:7月17日
調査方法:30株/区の寄生幼虫数・蛹数を計数

キャベツのハスモンヨトウに対する効果



日植防委託試験:徳島県農技センター(2006年)
放虫試験、処理:9月11日、品種:あさしお、定植:8月24日
調査方法:30株当りの生存虫数調査
* 処理後調査までの日数

適用病害虫と使用方法



作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量 (10a 当り)	使用時期	総使用回数*	使用方法
キャベツ	コナガ、タナキウワバ、ハイダラノメイガ、アオムシ	1000倍	100~300L	収穫前日まで	3回以内	散布
	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ヨトウムシ	1000~2000倍				
はくさい	コナガ	1000倍	200~700L	発生初期	6回以内	
樹木類	ヨトウムシ	1000~2000倍				
樹木類	ケムシ類					
たばこ	ヨトウムシ	1000~2000倍	25~180L	収穫10日前まで	2回以内	
きく	オオタバコガ、シロイモシヨトウ	1000倍	100~300L	発生初期	6回以内	
ばらカーネーション	オオタバコガ					

* 本剤およびメタフルミジンを含む農薬の総使用回数

使用上の注意事項

- ・植物体への浸透移行による効果は弱いので、かけ残しの無い様に葉の表裏に十分散布して下さい。
- ・ミツバチ・蚕に対して影響があるので、注意して下さい。

いまどきの防除

(病害虫の発生予察と薬剤による防除対策)

困っているんだ〜

●農水省は5月19日、向こう1か月の主要病害虫発生予報を発表しました。その中から主な作物を対象に、発生が「多い」と発表された病害虫とその地域及び防除農薬(当社の推奨農薬)を一表に纏めましたので推進のご参考にして下さい。

(注) FL:フロアブル 水:水和剤 乳:乳剤 DF:ドライフロアブル 粒:粒剤

作物別	病害虫名	発生が「多い」地域	防除農薬(当社推奨農薬)
野菜 (施設)	トマト	うどんこ病	北関東
		アブラムシ類	南関東
	なす	アザミウマ類	北九州
		コナジラミ類	四国
	きゅうり	うどんこ病	北九州
		コナジラミ類	南関東
	ピーマン	アザミウマ類	北関東
		アブラムシ類	四国
	いちご	うどんこ病	北陸
		ハダニ類	北関東

*使用に当たっては、製品ラベルをよく読み、登録内容の確認を充分に行ってください。

*展着剤を使用する場合は「まくびか」をお奨めします。

新しい農薬です

IBJの新農薬

(適用拡大を含む)

● 本年5月1日以降5月末までの間に、登録された新農薬(適用拡大を含む)は、次の通りです。

登録日	薬剤名	登録内容(適用拡大を含む)のあらまし	
		対象作物	内容
23.5.11	ランマンP フロアブル	芝(バントグラス)	(ピンシウム病、赤焼病対象) 「200倍液、㎡当り0.1L処理」の追加
23.5.25	テルスター フロアブル	かんきつ	・カネタタキ及びチャノミドリヒメヨコバイに適用拡大 希釈倍数:カネタタキ~3,000倍 チャノミドリヒメヨコバイ~6,000倍 ・チャノキイロアザミウマの希釈倍数を3,000倍→ 3,000~6,000倍に適用拡大 (使用時期:いずれも収穫前日まで)
		びわ うめ	・新たに、カメムシ類に適用拡大 希釈倍数:3,000倍、使用時期:収穫前日まで
	テルスター 水和剤	びわ	(アブラムシ類、オオタバコガ、カメムシ類対象) ・使用時期:収穫前7日まで→収穫前日までに ・本剤の使用回数:1回→2回に ・総使用回数:1回→2回にそれぞれ適用拡大



石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号

TEL 03-5844-6320 FAX03-3812-6548

ホームページ アドレス <http://www.iskweb.co.jp/ibj/>

